

# 令和5年度 平田小学校 働き方改革に係る取組

## 【「学校における働き方改革加速プラン(山口県)」3つの柱と13の取組】

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
① 事業・校務等の総点検と精選 ② 統合型校務支援システムの導入と運用 ③ 校務におけるICTの活用促進 ④ 学校・教員が担う業務の在り方の整理と保護者・地域への理解促進	⑤ 勤務時間管理の適正化と継続的な状況握 ⑥ 意識改革を図る研修の充実 ⑦ 部活動の適正化 ⑧ 留守番電話の活用 ⑨ メリハリのある働き方のルール化	⑩ 学校運営協議会等の仕組みの活用 ⑪ 教員業務支援員の配置 ⑫ 部活動指導員の配置 ⑬ ICT支援員の配置

## 時間外在校等時間の削減状況

### 令和4年度までの本校における時間外在校等時間の状況

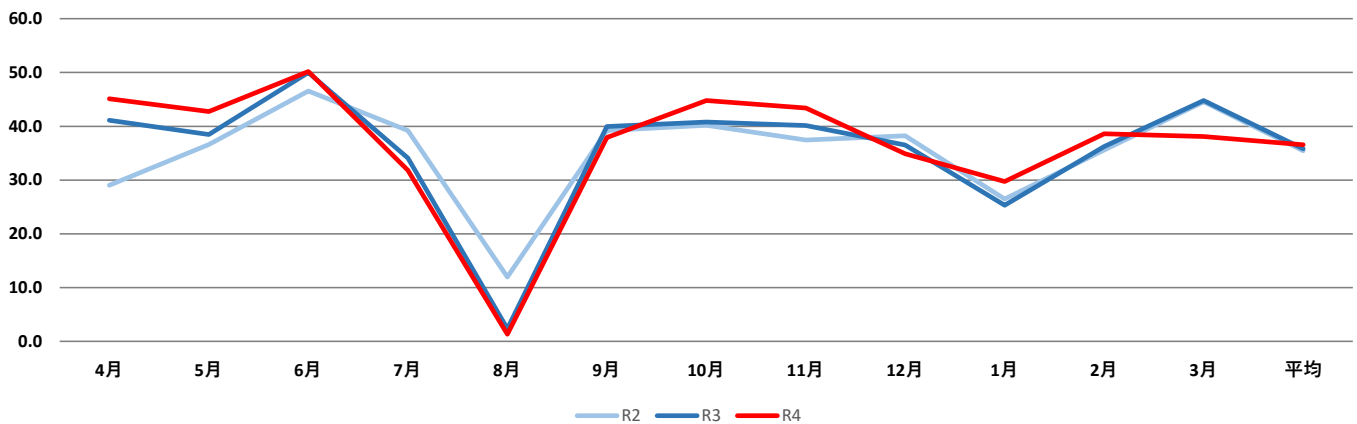
【1か月あたり45時間超、年360時間超の教職員の割合】

年度	区分	本校	県平均
		割合	割合
令和2年度	45時間超	28.2%	34.5%
	年360時間超	74.2%	66.6%
令和3年度	45時間超	33.9%	38.0%
	年360時間超	64.5%	65.4%
令和4年度	45時間超	37.1%	36.1%
	年360時間超	61.3%	64.5%

【教職員一人あたりの1か月の平均】

年度	本校	県平均
令和2年度	35.4時間	37.6時間
令和3年度	35.8時間	39.1時間
令和4年度	36.5時間	38.4時間

【年間の時間外在校等時間平均の推移】



## 本校の主な取組

業務の見直し・効率化	勤務体制等の改善	学校支援人材の活用
<ul style="list-style-type: none"> <li>欠席連絡のデジタル化</li> <li>学校評価アンケートのデジタル化</li> <li>配付文書のデジタル化</li> <li>メール配信による学校情報の提供</li> <li>標準授業時数に則った時間割</li> <li>業務時間確保のための校時程の弾力化</li> <li>学校行事や行事内容の精選</li> <li>授業や家庭学習でのICT活用</li> <li>通知表様式の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出退勤時刻のデジタル管理</li> <li>学校閉庁日の設定</li> <li>長期休業中の時差出勤制度の設定</li> <li>18:00以降の電話メッセージ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校見守りボランティアによる支援</li> <li>訪問型家庭教育支援チームによる支援</li> <li>クラブ活動へのボランティア支援</li> <li>読み聞かせへのボランティア支援</li> <li>ミシンボランティアによる学習支援</li> <li>外部人材(ゲストティーチャー)の活用</li> <li>業務アシスタントの配置</li> </ul>

保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。